

委員会審議	平成28年11月17日
-------	-------------

申請者	2病棟看護師	米川 文乃
1	在宅酸素療法と災害に関する危機意識について	
研究の概要	在宅酸素療法患者は、現在災害に対して危機意識をもっているのか、また、震災経験者と震災後在宅酸素療法を導入した患者の危機意識に違いがあるのか、両者の危機意識について現状把握し比較検討する。	
判定	条件付承認	本審査は条件付で承認された

委員会審議	平成28年11月17日
-------	-------------

申請者	12病棟看護師	人見 智恵
2	患者のプライバシーを守る行動と意識の向上	
研究の概要	12病棟では入浴に使用するホールは出入口に近くカーテンのない窓もあり開放的な構造で、プライバシー保持への配慮が不足していると感じながら入浴介助を行っている。そのため写真を掲示して12病棟の職員にプライバシーの保持に関する問題点をKJ法で明らかにする。	
判定	条件付承認	本審査は条件付で承認された

委員会審議	平成28年11月17日
-------	-------------

申請者	外来看護師長	高梨 悦枝
3	HOT記録から在宅での管理状況を知る	
研究の概要	当院に通院しているHOT患者(平成28年6月に管理指導料を算定した患者218名について、カルテから、性別、年齢、携帯用酸素ボンベ使用歴、携帯用酸素ボンベ使用支援者の有無、独居の有無、予約外受診の有無、入院歴、通院手段を入手し、HOT記録用紙から、バルブの開閉状態、電源、電池残量の有無、酸素残量の有無、指示酸素流量の可否、予備ボンベの有無について調査	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された

委員会審議	平成28年11月17日
-------	-------------

申請者	地域医療連携室 副看護師長	小林 美晴
4	在宅での酸素使用状況の実態調査 ～訪問看護を実施した患者のカルテレビュー～	
研究の概要	平成27年11月から平成28年6月の期間に訪問看護を実施した患者25名についてカルテレビューを行う。	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された

委員会審議	平成28年11月17日
-------	-------------

申請者	5病棟 看護師長	小森 由美
5	隔離状況下にある高齢者結核患者への運動介入プログラムの効果を検討する	
研究の概要	高齢者の場合、抗結核薬による治療開始後、副作用の出現により治療中断となる場合や、ADLが低下する場合もある。陰圧室の場合は、1ヶ月から3ヶ月の入院となることがあり、その隔離された状況の中での高齢結核患者への運動介入プログラムの効果を検討する。	
判定	不承認	大学との共同研究であり、大学での倫理審査承認後、再審査